

# 事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 土木部

所属名 道路保全課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
AI音声による道路規制情報案内事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和4年度	令和9年度	4,150	-			4,150	継続
除雪作業支援システム管理事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和5年度	令和10年度	1,362	-		1,362		継続
除雪体制強化支援事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和5年度	令和9年度	7,788	-			7,788	継続
道路等の安全・安心対策向上事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和6年度	令和7年度		-				完了
					13,300			1,362	11,938	

		土木部	道路保全課	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和4年度
AI音声による道路規制情報案内事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	県管理道路の通行規制を行う場合、県HP「みち情報ネットふくい」で情報発信しているが、電話問合せが一定数あり開庁時間のみの対応となっており、さらに災害時になると電話問合せが急増することから、VoiceBot導入により、職員の電話対応時間縮減と24時間365日の自動応答を図る。				
事業内容	県管理道路に加え、道路管理者の異なる直轄国道や高速道路の問合せにも対応する。また、「いつ解除されるのか」、「なぜ規制が行われているのか」といった問合せにも対応する。令和2年度から本事業の実証実験を実施しており、令和3年1月大雪時には1日最大約1,100件の入電がVoiceBotにあり、一定の成果があった。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,150	-			4,150
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	VoiceBotへの入電数（件）	1,100	2,729	令和7年度
	活動指標	AI音声による道路規制情報案内の広報（回）	2	2	令和7年度
事業評価	2,729件（1月末時点）の入電があり成果指標を達成した。 令和7年度においては、1月の大雪時には1,187件の入電に対応するなど、災害時における職員の電話対応時間を削減するとともに、24時間の自動音声対応により県民の利便性向上を図っている。 災害時は県民からの問合せが集中することから、VoiceBot導入により、電話がつかないストレスを軽減し、必要な情報を早く・公平に届けられる体制を実現していく。				
区分	継続				

	土木部	道路保全課	事業年度	令和 8年度	
4 住みやすさを高める（地域力）			経費区分	政策的経費	
16 防災・治安先進県ふくいの実現			事業開始年度	令和5年度	
除雪作業支援システム管理事業			事業終了年度	令和10年度	
事業目的	<p>応援除雪実施時に、応援業者が支障となる構造物が確認できるよう、積雪前の道路状況をタブレットに表示（除雪作業支援システム）し、スムーズな応援除雪を図る。</p>				
事業内容	<p>(1) 除雪作業支援システムの保守（ソフトウェア+タブレット：35台）  (2) 路線画像データ取得および画像データ編集</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,362	-		1,362	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	除雪作業支援システム活用業者数（社）	35	35	令和7年度
	活動指標	除雪作業支援システム配備数（台）	35	35	令和7年度
事業評価	<p>除雪作業支援システムを35社が活用しており成果指標を達成した。  冬期の除雪作業時において、積雪前の道路状況をタブレットに表示することで、除雪オペレータが除雪作業に支障となる道路上のマンホールなどを事前に確認でき、作業時間が10%短縮するなど効率的な除雪作業を実現することができた  今後も継続してシステムを活用するためのシステム保守を行うとともに、タブレットに表示する対象路線の拡大を図る。</p>				
区分	継続				

	土木部	道路保全課	事業年度	令和 8年度	
4 住みやすさを高める（地域力）			経費区分	政策的経費	
16 防災・治安先進県ふくいの実現			事業開始年度	令和5年度	
除雪体制強化支援事業			事業終了年度	令和9年度	
事業目的	除雪オペレータの人員不足に対応するため、除雪機械の運転に必要な免許取得および技能講習に係る費用の補助を行い、除雪機械の運転手となる若手人材等を育成し、除雪体制の強化を図る。				
事業内容	(1) 県の除雪機械の運転に必要な免許取得および技能講習に係る費用の補助 補助上限額：250千円 補 助 率：1/2 （70名） (2) 補助金交付申請の受付および交付決定通知の処理業務等の補助 補 助 先：（一社）福井県建設業協会 補 助 額：定額788千円				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	7,788	-			7,788
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	除雪オペレータ育成人数（人）	70	44	令和7年度
	活動指標	事業の公募と周知（回）	4	4	令和7年度
事業評価	令和7年度においては44名（1月末時点）にとどまり、成果目標人数に達しなかった。除雪オペレータの人員不足に対応するため、引き続き除雪機械の運転に必要な免許取得および技能講習に係る費用の補助を行い、除雪機械の運転手となる若手人材等を育成し、除雪体制の強化を図っていく。 〈事業による要因〉 募集期間が短いために免許を取得できないことがないようにするため、次年度は募集期間を延長することとし、目標人数の達成に向けて、補助制度の活用を除雪業者に周知していく。				
区分	継続				

		土木部	道路保全課	事業年度	令和7年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和6年度
道路等の安全・安心対策向上事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	新幹線開業により、県内において人や物の往来が増加したことを踏まえ、県内外の道路利用者の安全・安心や快適性を最大限確保するため、道路や交通安全施設等についてきめ細やかな維持管理を実施する。				
事業内容	(1) 舗装補修 (2) 区画線、交通安全施設補修 (3) 道の駅改修、河川補修 (4) 横断歩道、道路標識等の整備				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,200,000	-		2,100,000	100,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	舗装補修（施工延長）	32	32	令和7年度
	活動指標				
事業評価	<p>舗装補修を32km実施し、成果指標を達成した。            新幹線開業により交通量が増加している観光ルートなどの道路について、補修を実施する基準を改善して補修工事を実施し、観光客へ安全安心で快適な道路空間を提供できた。</p> <p>〈事業実績〉            舗装補修：25路線 32km、区画線補修：24路線 180km、防護柵補修：32路線 12km            表示文字の変更ができない旧式の道路情報板を6基更新、道の駅で、老朽化したトイレや設備等のリニューアルを5箇所を実施した。</p> <p>(活動指標の設定ができない理由)            維持管理業務であるため、数値による目標設定になじまない。</p>				
区分	完了				